



心臓血管外科術後の早期離床

～急性期におけるケアと離床のポイント～

2020年
6月28日(日)
10:00～16:10

心臓血管外科
専門講座

※事前登録制:先着順で定員になり次第、締切りとなります。

講座コード R-14



今、離床せずしていつ離床するのか?

絶好の機会を見逃さないために必要な知識と行動力を身につける

心臓・血管手術の翌日からアプローチしたい… そう考えても「リスクレベルが判断しにくい」「自分の施設でどうやって導入したらわからない」など多くの問題点から、一步を踏み出すことができずに悩んでいる方は多いのではないですか?そこで本講座では、年間のべ 1,000 例近く ICU で離床を行うベテラン理学療法士を講師に招き、術後から回復期リハビリに必要な知識を綿密に学習。ベッドサイドでの動き方から、症例別リスクレベル、施設における心臓リハビリ導入法まで、幅広い知識を学びます。目の前の患者さんのために、今こそ動く時です。日本国内における多くの離床仲間と共に学びましょう!

アセスメント・アプローチ・リスク管理の流れを完璧に習熟するための集中プログラム

1. 術前情報から読み取るわかる心臓リハビリのリスク

- 病歴・心エコー・24時間心電図・ECG・生化学検査・MSCT・CAG

2. 術中記録の評価ポイント

- 単独手術と複合手術の違いとその影響
- 人工心肺の使用は離床に影響するのか?
- 胸骨閉鎖法と素材の違いによる離開リスクの差

3. ICU記録データ収集のコツ

- スワンガンツカテーテル・フロートラックセンサー・尿量・出血
- 水分 in/Out バランス・投薬状況

4. 術式別にみる適切な離床時期とADLアップの留意点

- 冠動脈再建後 / 弁置換後 / 大血管術後

5. 術後早期における離床の実際

- 動画で見る臨床での動き方と留意点
- 一時的低心機能をどう把握すべきか?
- リフィリング・尿量増加・血圧変化 この連環をふまえた離床時期の見極め
- 突然出現する不整脈のリスクと離床可否の判断

※心外術後を軸に講義を進行しますが、循環に問題を抱える患者のケア・リハビリと重なる内容が多く含まれますので、心リハ領域以外の方も奮ってご参加ください。
※この講座は離床アドバイザー習得コースの理論コース 1 単位を取得できます。

受講方法

- ホームページよりオンライン登録
- 添付の申し込み用紙に記入の上、FAXまたは郵送
(申し込み用紙はホームページからもダウンロードできます)

日本離床学会

検索

6. 把握すべき離床のリスクとそのマネジメント

- 病態別に診る運動時の反応特性
- 起立性低血圧対策
- 投薬と運動の関連
- 心不全を悪化させないための判断ポイント

7. リハビリ室での運動療法

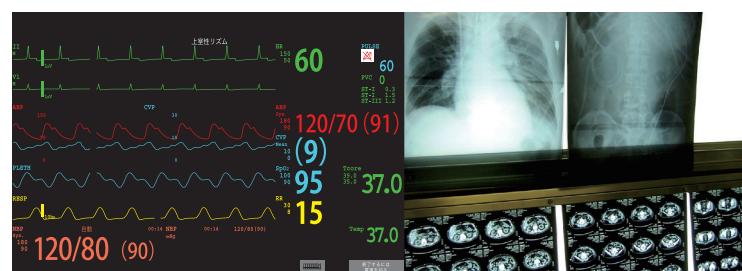
- この症例は心電図モニターをつけるべきか?
- リハ室でのリスク管理と運動のゴール設定

8. 退院時指導の留意点

- 運動してはいけない目安や兆候のポイント
- 実生活レベルを意識した動作指導の具体策
- 与えよう! 病気を乗り越えるモチベーションと勇気

9. 施設に心臓リハビリを導入するためのポイント

～これから取り組みたいと考えている方へメッセージ～



お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に! 日本離床学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12 ブラーレルビル2F
ホームページ <https://www.rishou.org/>
TEL 03-3556-5585 FAX 03-6272-9683
Eメール jsea@rishou.org